

熱中症アラート等への対応及び登下校の暑さ対策について

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本格的な夏の到来を前に、気温が高い日も増えてきたことによる熱中症の危険性が高まっております。児童の安全を最優先に、以下のとおり対応を行いますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

<熱中症特別警戒アラート> WBGT が 35（予測値）に達する場合

- 原則、すべての活動を中止する（冷房の効く部屋以外）
 - ・登校に影響が出る場合は、市教委と相談の上、対応する。
 - ・対応については、安心メールで保護者に配信する。

<熱中症アラート>

- グラウンド及び体育館にある熱中症指標計の数値から、活動についての方針（実施、中止等）を協議する。
- 長休み前、昼休み前には体育館やグラウンドでの活動について、全校放送にて児童にアナウンスする。
 - ・WBGT 値が 31 以上の場合（危険）
 - 体育館使用及び外遊びを中止する（外での学習活動、水泳学習も中止）
 - ・WBGT 値が 28～30 の場合（画面上：嚴重警戒）
 - 激しい運動遊びは禁止、（短時間であれば）帽子を被って外に出てよい
 - 水筒を持っていくなど、すぐに水分補給ができるようにする
 - 体調が悪いときは、近くの先生に伝える

<登下校の暑さ対策について>

手で持つタイプ



首に巻くタイプ



- 日傘やネッククーラー等は、手軽にできる対策として有効です。 **全学年使用可能です。**
※雨傘の使用は3年生以上の学年に限ります。
- 使用に関してはリスクも想定されるため、**使用については各ご家庭でお子様の学年や経験、その日の荷物、天候等を考慮して判断してください。使用の際はご家庭で使用方法やマナー等を指導してください。**
※学校で充電や冷凍、冷蔵等の対応はできません。

【リスク】 ◆ 手持ちの物は、手が塞がることによる転倒時のけが
◆ 日傘等は周囲の人にぶつけてしまう、強風で飛ばされる（扱いの不慣れ）
◆ 落として壊れる（羽根があるものは指や毛髪、物が挟まる）
◆ 貸し借りした際に壊れる（それが元でトラブルになる）

- 水筒を持たせてください。また、家を出る前に水分補給をしてから登校することを推奨します。
- 事故やトラブル防止のため、学校では以下について指導します。
 - ・使用する物には必ず記名をお願いします。
 - ・校内では使用せず、ランドセル内や個人ロッカーにて自己管理する。
 - ・人の物は使わない、人がロッカー等で保管している物を勝手に触らない。
 - ・日傘やネッククーラー等で遊ばない。
 - ・登下校中に破損してしまった場合は、必ず持ち帰り、家の人に伝えること。
 - ・下校前に水分補給をすること。